日本共産党尾西後援会「れんげの会」第 13 回総会（2026.7.5）

2026．7．5（日）午後 2：00 ～ 4：30　尾西生涯学習センター 2F　G 会議室

「代表世話人挨拶」

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介に預かりました、代表世話人の M といいます。

皆様には、日本共産党尾西後援会「れんげの会」の第 13 回総会に多数ご参加いただき、厚く御礼申し上げます。

いま、国会の政局を見ますと、自民党は 2 月 8 日の衆議院選挙で 316 議席を獲得して、高市早苗首相は、この圧倒的な議席数をもって、国家主義的で非民主的な、そして危険で反動的な「戦争国家作り」へと盲進する、憲法違反の悪法を次々に推し進めようとしています。例えば、6.26 には、参考人が違憲性を指摘する中、「国旗損壊処罰法案」が可決しました。同じく 6.26、自民党と日本維新の会の与党は、「衆院比例定数削減法案」と「副首都法案」の特別委員会への付託を強行し、審議入り日程を一方的に決めました。これを巡って、日本共産党、中道改革連合、国民民主党、参政党、チームみらいは、与党の数による横暴だとして、今後一切の国会審議に応じない構えです。特に民意が最も良く反映される衆院比例定数を削減するという「定数削減法案」を巡っては、山添拓政策委員長は、議会制民主主義を壊す暴挙であり「断じて認められない」と表明しています。そしてまた、政府の「皇室典範改定案」を巡っては、そもそも天皇の地位は、「主権の存する国民の総意に基づく」とする日本国憲法第 1 条の規定があり、「国民の総意」に基づかないような皇室典範の改定は許されません。小池晃書記局長は、自民党の中曽根弘文・憲法改正実現本部長の『男系男子』に固執する、人権を無視した皇位継承発言の矛盾を指摘しています。さらにまた、高市首相を巡っては、先の自民党総裁選や衆院選において、他の候補者を貶める誹謗中傷動画やサナエトークンなどの暗号資産問題が発覚して国会で追及されています。高市氏は、国会で答弁する代わりに秘書の陳述書の提出でごまかそうとしていますが、国会議員の質問に対して答弁拒否するなどは、国会審議の否定であり憲法違反の横暴です。これらを巡って、参院野党の各会派は、与党に対して集中審議と党首討論の開催を要求していますが、これも与党が難色を示した為、確約が得られるまで新たな審議日程の協議には応じない構えです。

こうして、今月 17 日に国会の会期末を迎える中、今、国会がやるべきは、数を頼んだ乱暴で憲法違反の悪法を職権乱用で成立させることではなく、高市首相を巡る疑惑を解明し、中国を敵視した大軍拡ではなく、憲法の理念を生かした平和外交であり、とりわけ消費税減税・廃止や社会保障の充実など、円安の下、物価高に苦しむわれわれ国民の暮らしを守る手立を講じることです。高市自維政権の権力の私利私欲に走った国民生活を顧みないファシズムの強権政治を許さない闘いが、今、地方自治体首長選挙においても闘われています。東京都杉並区の区長選挙で勝利した岸本聡子氏で明らかなように、また、資本主義の中心地であるニューヨーク市のマムダニ氏の若き市長の誕生でも明らかなように、世界の各地で民主的な勢力が勝利しています。今日はここに、日本共産党尾西後援会「れんげの会」の総会にあたって、来年行われる愛知県会議員選挙と一宮市会議員選挙の候補者である河江明美・県書記長と、渡辺さとし市会議員にお越し頂き、ご挨拶をお願いしています。質問時間など沢山取っていますので、身近な問題や、この地域がもっと住みやすくなるにはどうしたら良いかなど、皆様のご意見など多数出していただき、活発な議論をしていただくことをお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

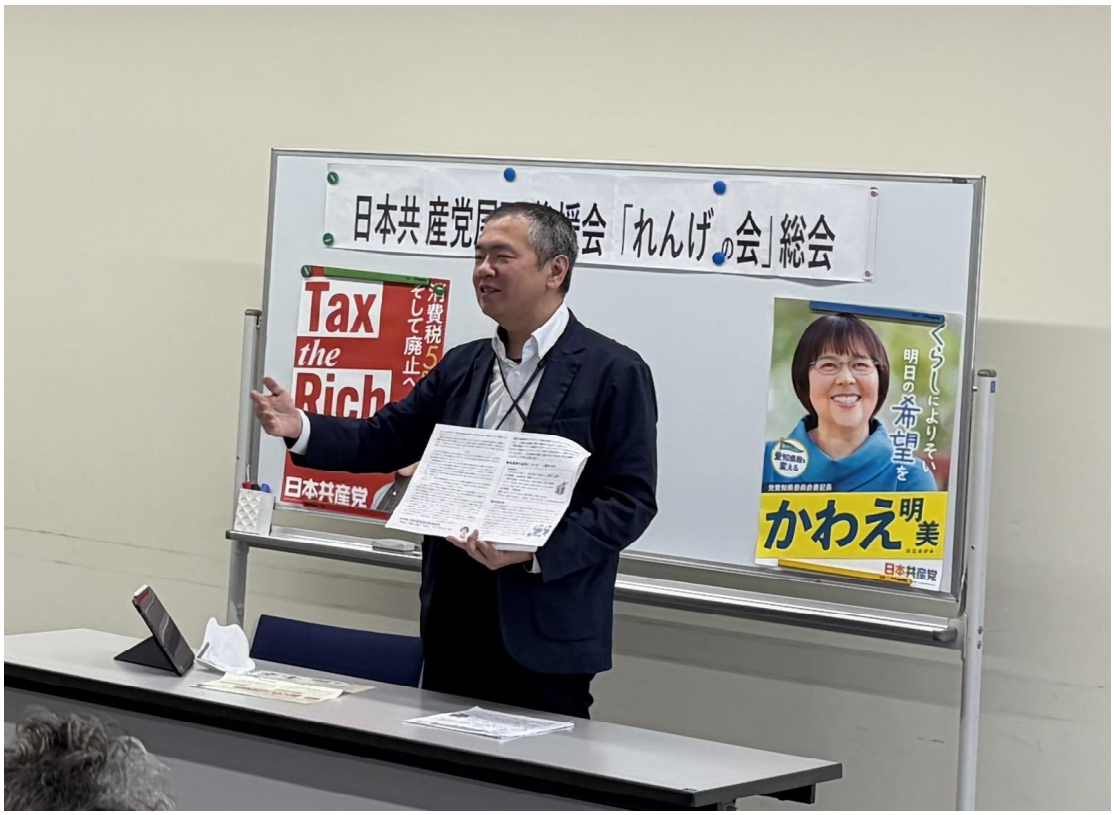
「団結がんばろう！」

来年の県議会議員選挙に河江明美さんを、そして市会議員選挙に渡辺さとしさんを、共に、議会に送り出すために、一致団結して、頑張ろう。頑張ろう。頑張ろう。

「れんげの会」第 13 回総会（2026.7.5）

代表世話人（M）挨拶

愛知県会議員選挙一宮選挙区河江候補挨拶



一宮市会議員選挙渡辺候補挨拶